

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/23 （6/16との比較）	6/23 （6/16との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.48% （▲0.05）	83.89円 （▲0.06%）	+2.3% 2017年1Q	0.50%	小売売上高は市場予想を上回ったものの、CPIは市場予想を下回る。これを受けて利上げ観測がやや後退する中、国債利回りは低下。原油価格が軟調な動きとなる中、カナダドルは対円で下落。	GDP（国内総生産）などの発表が予定され、引き続き景況感の改善度合いを見極める環境。またECB（欧州中央銀行）主催の各国中銀総裁などによる議論での、カナダ中銀総裁の発言内容にも注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ブラジル 	BB	9.99% （+0.09）	33.29円 （▲1.20%）	-0.4% 2017年1Q	10.25%	労働法改正案が上院委員会で否決されるなど、引き続き政治リスクが懸念される相場展開が継続。レアルは対円で下落。国債利回りは上昇。	経常収支などの発表を予定。国債利回りには低下圧力がかかりやすく、レアルは中銀が下支えすると見込まれるものの、政治リスクへの警戒感は根強いことなどから、債券・為替市場は神経質な展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.55% （▲0.31）	6.18円 （▲0.13%）	+2.8% 2017年1Q	7.00%	主要輸出品目である原油の価格が軟調に推移したことで、ペソは対円で下落。中銀総裁が利上げ局面の終了を示唆したことなどから、国債利回りは低下。	中銀が金融政策を転換するとの思惑から、国債利回りは低下圧力がかかりやすい展開になると想定。ペソはNAFTA（北米自由貿易協定）再交渉の動向をにらみつつ、神経質な展開を予想。
	A3	 金利低下		 景気安定	 利下げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/23 （6/16との比較）	6/23 （6/16との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.37% （▲0.04）	84.22円 （▲0.31%）	+1.7% 2017年1Q	1.50%	中銀の政策委員会議事要旨では、経済成長に対する楽観的な見方を維持しつつも、緩和的な政策スタンスの維持が適切との見方を示唆。国債利回りは低下。オーストラリアドルは対円で下落。	民間部門信用と中銀副総裁の講演などが予定され、金融政策姿勢を見極める環境。海外の政治経済動向に大きな材料が見当たらない中、債券・為替市場は方向感に欠ける動きを想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.73% （▲0.04）	81.06円 （+0.80%）	+2.5% 2017年1Q	1.75%	中銀は政策金利の据え置きを決定。緩和的な政策運営を続けるとしつつ、状況が変化した場合に政策を調整することを示唆。消費者信頼感指数などの経済指標は堅調。ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは低下。	隔週で開催される乳製品入札の落札価格は上昇した一方、国内の乳製品先物価格は下落するなど、農家の景況感改善の持続性には不透明感が残る。企業信頼感指数などの発表を予定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.50% （▲0.05）	13.18円 （+0.61%）	+2.6% 2017年1Q	0.50%	中銀は政策金利の据え置きを決定。今年後半以降の利下げの可能性を示唆していた政策金利見通しを上方修正し、当面政策金利が据え置かれるとの見方に変更。ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは低下。	緩やかな景気拡大局面が続く見込み。小売売上高や失業率などの経済指標が改善した場合、金融政策が利上げ方向へと変更になる可能性。しかし短期的には、同国金融市場は原油価格動向の影響を受ける公算。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/23 (6/16との比較)	6/23 (6/16との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BBB-	7.55% (▲0.04)	8.61円 (▲0.48%)	+1.0% 2017年1Q	7.00%	インフレ統計はおおむね横ばいとなる一方、経常収支は赤字幅が拡大。中銀の独立性を巡る議論が白熱したことを受けて、ランドは対円で下落。国債利回りは低下。	貿易収支などの発表を予定。選挙裁判所が、無記名での大統領不信任投票の実施を可能と判断し、信頼が低下する大統領交代の可能性。政治的な不透明感の残存から債券・為替市場ともに不安定な展開を予想。
	Baa3	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	6.67% (▲0.00)	0.84円 (+0.24%)	+5.0% 2017年1Q	4.75%	政府は外資による同国産業への出資制限を一段と緩和し、外国から投資を促す方針。6月末の大型連休を控える中、ルピアは対円で上昇。国債利回りは横ばい。	主要な経済指標の発表はなし。ラマダン明けの祝日により休場。米国債券利回りが低水準で推移する中、相対的な利回り水準の高さが選好され、今後も同国資産への強い需要が継続することを予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.55% (▲0.06)	1.72円 (▲0.23%)	+6.1% 2017年1Q	6.25%	金融政策決定会合議事録を公表し、インフレ懸念の緩和を示唆。材料が少なく方向感のない展開となる中、国債利回りは低下。ルピーは対円で下落。	財政収支などの発表を予定。国内で市場に関する材料は少ないものの、GST（物品・サービス税）の導入予定日が迫っていることから、債券・為替市場ともに同税制の動向に左右される展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

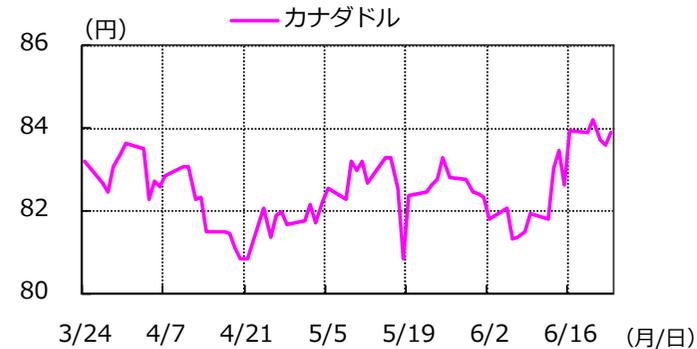
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

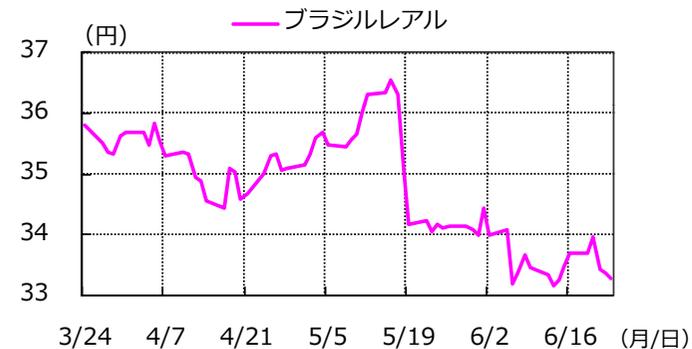
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/3/24～2017/6/23

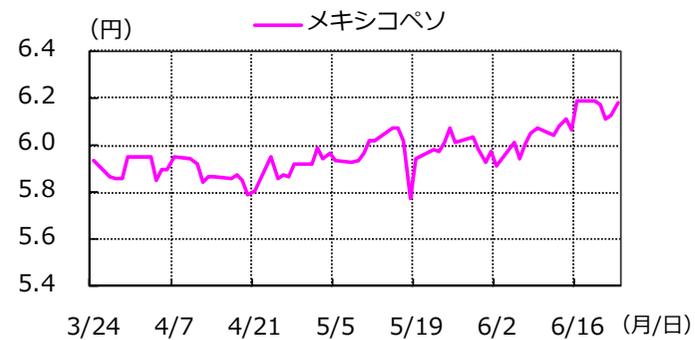
カナダ



ブラジル



メキシコ

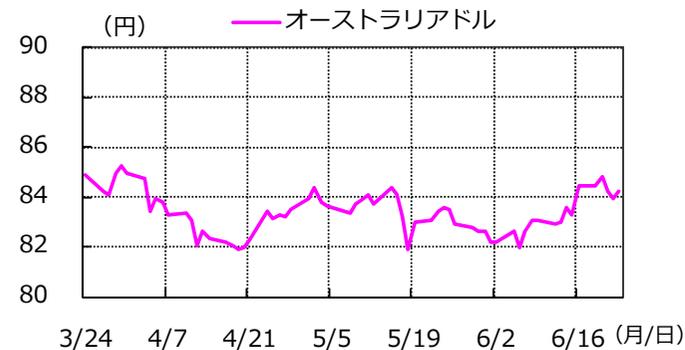
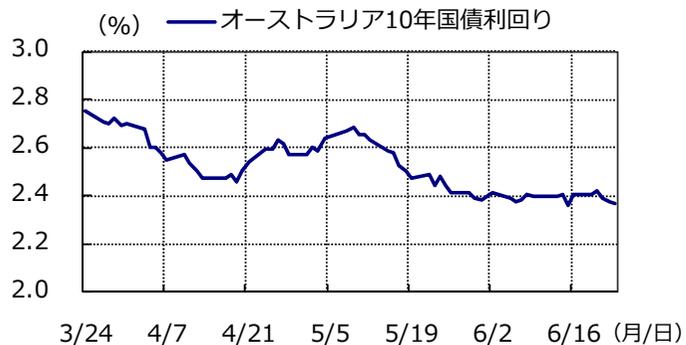


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

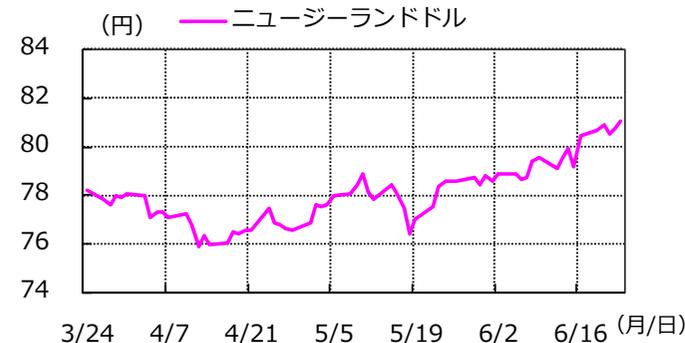
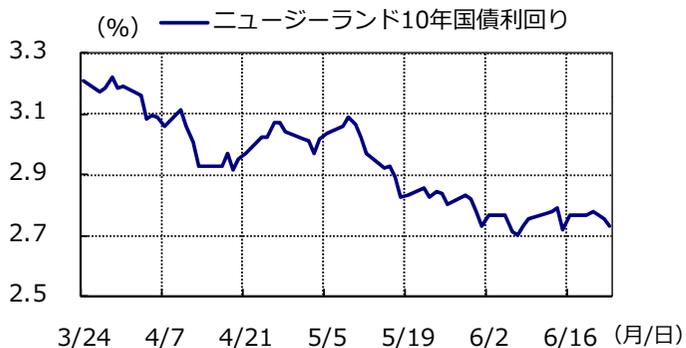
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/3/24～2017/6/23

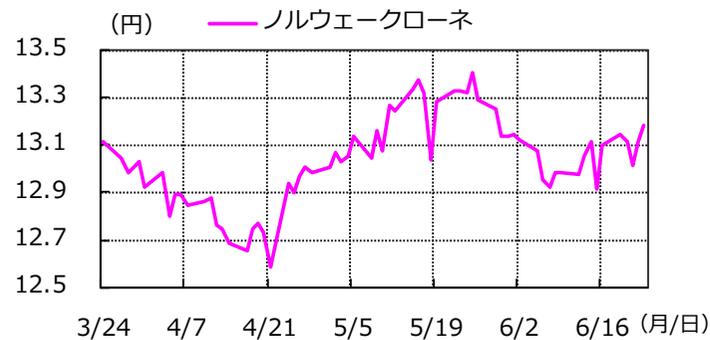
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

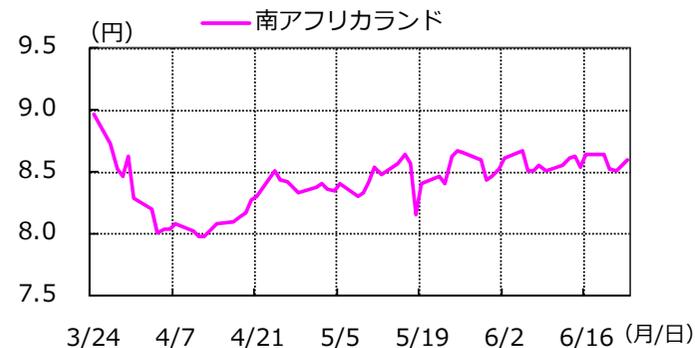


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。(出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成)

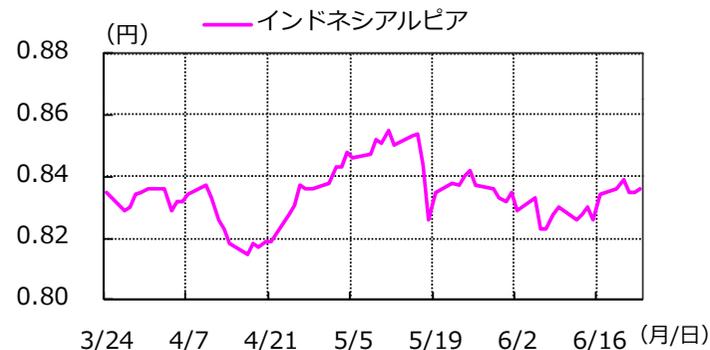
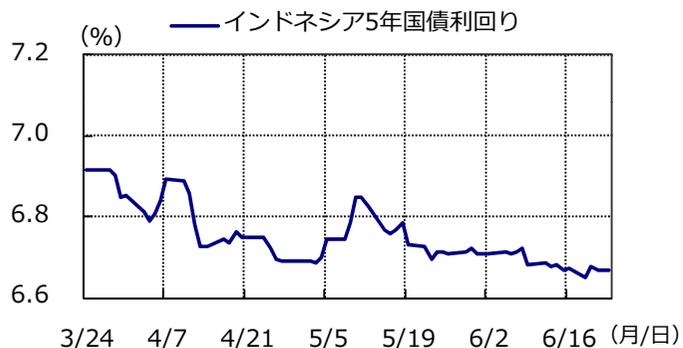
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/3/24～2017/6/23

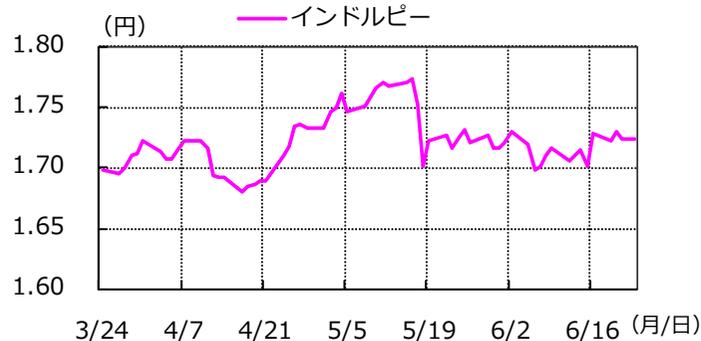
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。